

プログラム

第1日目：2016年9月24日（土）

9：10－9：25 開会の辞

来賓挨拶 青木 菫子（新潟大学大学院保健学研究科 研究科長）

大会長挨拶 有森 直子（新潟大学大学院保健学研究科 教授）

9：30－10：30 一般演題（口演） 第I群【遺伝教育・遺伝情報】

座長：小澤 哲夫（国立病院機構新潟病院）

須坂 洋子（帝京平成大学 講師）

- 01-1 長崎県内島嶼部の看護職の卒後遺伝教育に対するニーズ調査
佐々木 規子（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
- 01-2 看護職者に対する成人ターナー女性のeラーニングプログラムの作成
津島 智子（国立成育医療研究センター）
- 01-3 遺伝性腫瘍における遺伝情報共有のための家族内コミュニケーションに関する文献レビュー
米田 絵莉香（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科）
- 01-4 ゲノムコホート研究における遺伝を専門とする看護師の役割
－遺伝情報の結果返却に関連して－
相澤 弥生（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構）

10：30－10：40 休憩（10分）

10：40－11：30 市民公開講座

出生前検査

講師：高桑 好一

（新潟大学医歯学総合病院 総合周産期母子医療センター 教授）

座長：定方 美恵子（新潟大学大学院保健学研究科 教授）

11：30－11：40 休憩（10分）

11：40－12：40 ランチョンセミナー 共催企業：ジェンザイム・ジャパン株式会社

遺伝を理解する、説明する

講師：小野寺 理（新潟大学脳研究所 神経内科学分野 教授）

座長：中島 孝（国立病院機構新潟病院 副院長）

12：40－12：50 休憩（10分）

12 : 50—13 : 50 一般演題（口演） 第Ⅱ群【小児・周産期領域】

座長：野間口 千香穂（宮崎大学 教授）
関島 香代子（新潟大学大学院保健学研究科 准教授）

- 02-1 Children' s Hospital of Philadelphia 22q and You Center での調査報告
北村 千章（新潟県立看護大学）
- 02-2 Cohen症候群と診断されたきょうだいの事例報告
北村 千章（新潟県立看護大学）
- 02-3 無侵襲的出生前遺伝学的検査を受検したカップルの経験に関する思い
—夫の経験に焦点をあてて—
原田 直子（東海大学医学部付属病院看護部／同病院遺伝子診療科）
- 02-4 Marfan症候群女性が妊娠・出産を選択する際に影響する要因
森山 育実（藤田保健衛生大学保健学研究科）

13 : 50—14 : 00 休憩（10分）

14 : 00—15 : 00 教育講演 1

遺伝医療における緩和ケア —これまでとこれから—

講師：中島 孝（国立病院機構新潟病院 副院長）

座長：有森 直子（大会長／新潟大学大学院保健学研究科 教授）

15 : 00—17 : 00 患者会・親の会の方との交流

15 : 30—16 : 30 特別企画 1

ナラティブ分析

講師：宮坂 道夫（新潟大学大学院保健学研究科 教授）

16 : 30—17 : 30 特別企画 2

E BNのステップ

講師：堀内 成子（聖路加国際大学大学院 教授）

18 : 00—20 : 00 懇親会

第2日目：2016年9月25日（日）

9：00－9：30 総会

9：30－10：30 教育講演 2

家族性腫瘍

講師：佐藤 信昭（新潟県立がんセンター新潟病院 院長）

座長：坂井 さゆり（新潟大学大学院保健学研究科 准教授）

10：30－10：40 休憩（10分）

10：40－12：20 シンポジウム

遺伝看護の専門性とパートナーシップ

座長：武田 祐子（慶應義塾大学 教授）

青木 美紀子（聖路加国際大学大学院 准教授）

病院勤務助産師の立場から

御手洗 幸子（NTT東日本関東病院 助産師）

多様性に向き合う市民団体の立場から

近藤 寛子（ヨコハマプロジェクト 代表）

遺伝診療部・オンコロジーセンター看護師の立場から

大川 恵（聖路加国際病院 看護師）

臨床遺伝専門医・婦人科腫瘍専門医の立場から

菊池 朗（新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科部長、
臨床遺伝専門医）

臨床心理士・認定遺伝カウンセラーの立場から

後藤 清恵（国立病院機構新潟病院 臨床心理士、
認定遺伝カウンセラー）

指定発言者：井部 俊子（聖路加国際大学大学院 特任教授）

12：20－12：30 休憩（10分）

12：30－13：30 一般演題（ポスターセッション）

P-1 ダウン症候群の出生前検査で偽陽性・偽陰性結果であった者の心理的影響に
関する文献レビュー

納富 理絵（日本赤十字社医療センター）

P-2 産科一次医療機関における遺伝教育の実践報告

森屋 宏美（東海大学健康科学部）

P-3 保険適用となったRET遺伝学的検査の説明文書・同意書の作成

塚谷 延枝（医療法人野口病院 診療記録管理室）

- P-4 院内開催「遺伝看護セミナー」の評価と課題
溝口 満子（東海大学医学部附属病院 遺伝子診療科）
- P-5 甲状腺専門病院における遺伝看護教育について
河野 沙織（医療法人野口病院看護科）
- P-6 歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症を発症した母親と at risk の子への遺伝カウンセリングの課題
神原 容子（東京都立北療育医療センター看護科／東京大学医科学研究所）
- P-7 Prader-Willi 症候群のケアギバーを対象とした勉強会の実践報告
ー地域での取り組みー
沓脱 小枝子（山口大学大学院医学系研究科）
- P-8 先天性表皮水疱症患者の創傷・スキンケア方法の検討
三浦 由紀子（東京医療保健大学）
- P-9 遺伝性疾患の支援に関する臨床心理士の取り組み
ー3年間の統計的データによる実践報告ー
芳賀 まゆき（独立行政法人国立病院機構 新潟病院）
- P-10 ヒトゲノム・遺伝子解析研究におけるゲノムリサーチコーディネーターの役割
小巻 正泰（大阪大学医学部附属病院 看護部）
- P-11 ARCS モデルを活用した
家族性アミロイドポリニューロパチー遺伝看護教育プログラムの作成
柊中 智恵子（熊本大学大学院生命科学研究部）
- P-12 家系内での遺伝性腫瘍の遺伝情報共有に関する文献レビュー
高田 絵梨（地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター）
- P-13 家族性腫瘍の診療体制の構築
ーLynch 症候群の遺伝学的検査に関連したマイクロサテライト不安定検査の体制整備についてー
平野 幸子（聖隷佐倉市民病院看護部）

13 : 30ー14 : 15 一般演題（口演） 第Ⅲ群【家族性腫瘍・難病】

座長：後藤 清恵（国立病院機構新潟病院 臨床心理士）
佐藤 悦（新潟大学医学部保健学科 助教）

- 03-1 家族性大腸腺腫症を抱えながら生きる人の体験
鴨川 七重（東海大学医学部附属病院）
- 03-2 遺伝性乳がん卵巣がん症候群における婦人科看護職の役割
出森 彩乃（聖路加国際病院）
- 03-3 家族性アミロイドポリニューロパチー遺伝看護教育プログラムの有効性の検討
ー質的評価ー
柊中 智恵子（熊本大学大学院生命科学研究部）

14 : 20ー15 : 20 新潟県内の遺伝医療紹介・大学院遺伝看護教育課程紹介

15 : 20ー15 : 35 閉会の辞

大会長挨拶 有森 直子（新潟大学大学院保健学研究科 教授）